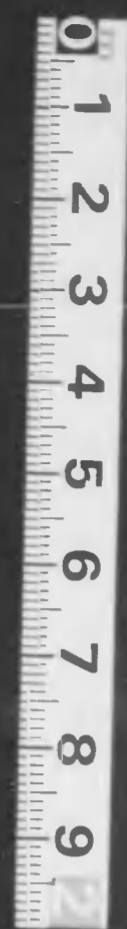
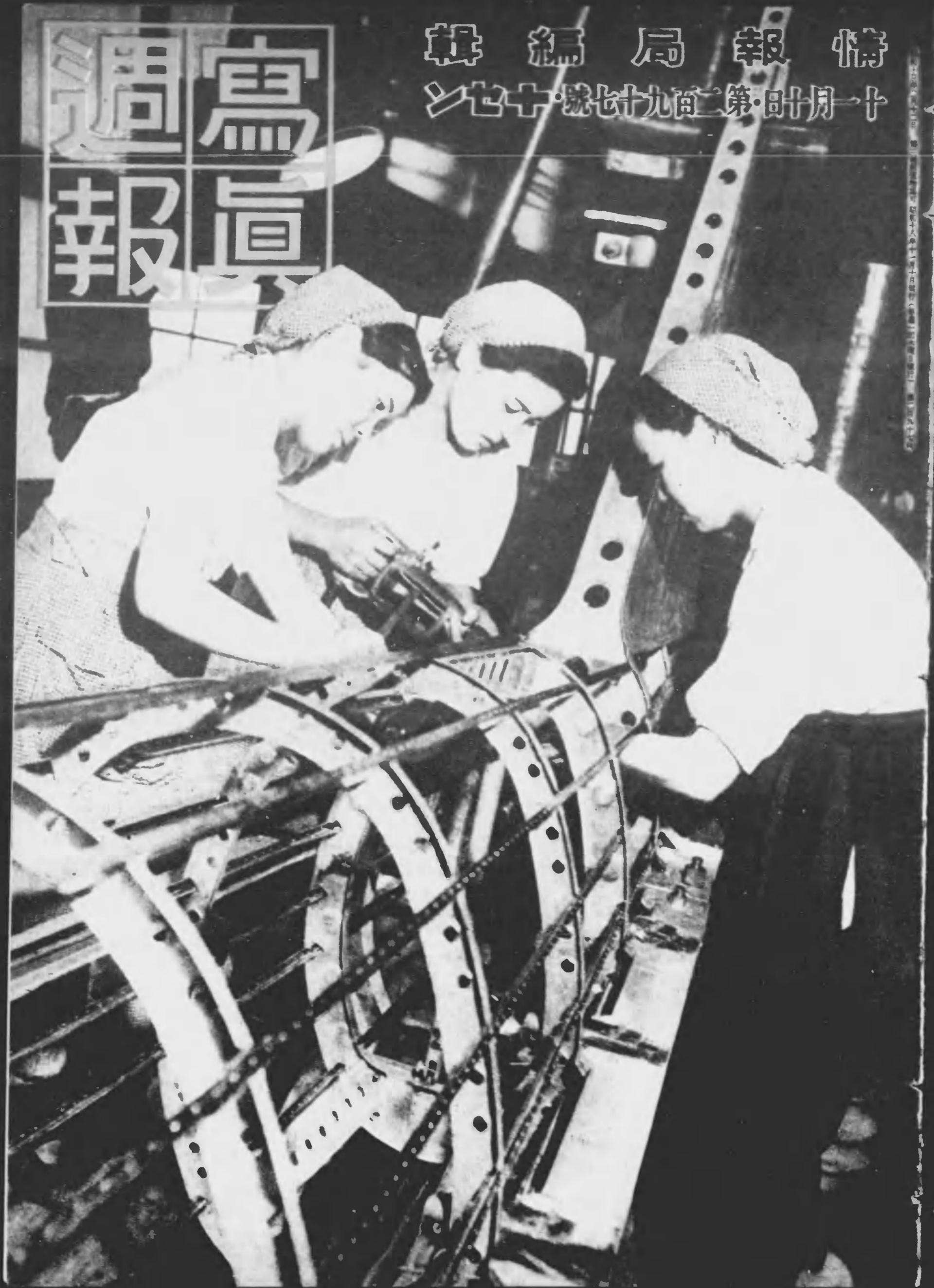


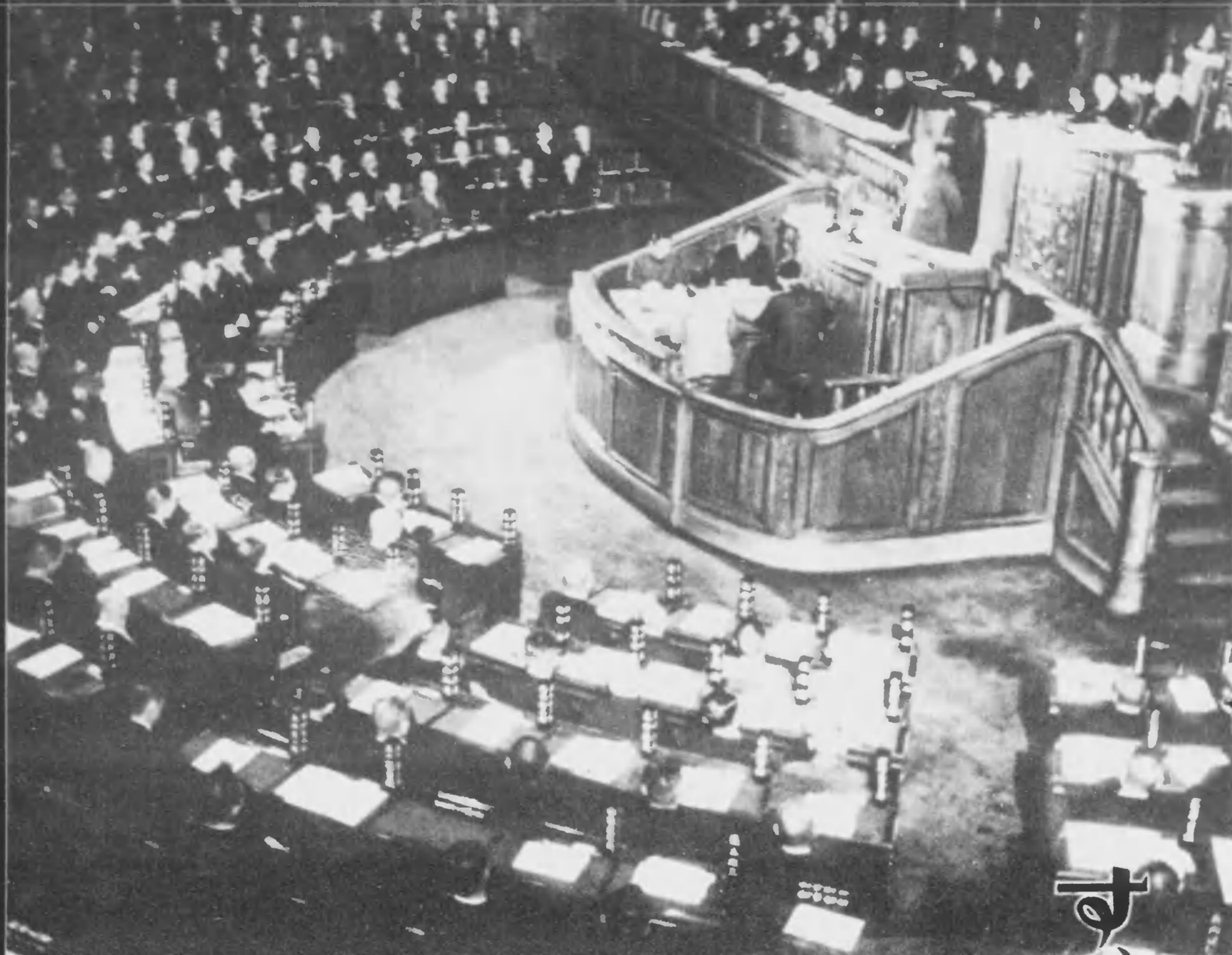
寫眞週報

編輯局報情
十一月十日 第九百七十七號



今や大東亞のための大東亞成る
 その總力が米英擊滅の戦列に動員され
 十億民衆の怒りが豊富な資源を戦力化して
 降魔の劍を振ふのだ
 敵を恐怖から、悲鳴へ
 そして絶望へ——
 たゞわれらの決意と實踐あるのみ

「時の立札」は地へ刺さるの儘に利用下さい
 挿し正に二機、決戦の氣満つ議會開議の衆議院本會場



すべてを

敵の非望破碎へ

第八十三臨時議會

進む大東亞建設の大事業

第八十三臨時議會は、さる十月二十六日から二十八日まで短期間ではあるが、非常な成果を収めて終了した。顧みると、大東亞戦争が始まつてから通常議會、臨時議會を含めて既に六回、その一回々々が大東亞戦争完遂、大東亞共榮圈必成のおほらかな里程標をなしてきた。

長くも 天皇陛下には本議會開院式に親臨あらせられ、優渥なる勅語を賜ひ

朕カ外征ノ師ハ萬難ヲ排シテ隨處ニ勇戰奮闘ス、其ノ威武ヲ發揚セリ而シテ大東亞ノ建設日ヲ遂ヒテ進ミ友邦トノ結盟ハ益々固キヲ加フ朕深ク之ヲ欣ブ今ヤ時局洵ニ重大ナリ宜シク億兆一心更ニ總力ヲ發揮シ以テ敵國ノ非望ヲ破碎スヘシとの有難き御言葉を拜した。誠に恐懼感激の極みである。

想へば、宣戰の大詔を拜してから未だ二ヶ年を経てゐない。その間、御稜威の下、かくも偉大なる戦果を擡大し、かくも偉大なる建設を成就したことは、かつて歴史に見ないことであつて、一億國民、皇國の有難さが心魂に徹すると共に、必勝の決意さらに新たなるものを覚える。

試みに、地圖を開いてみよ。東條總理の言はれる如く、萬邦をして各、その所を得しめ、兆民をして悉くその境に安んぜしめるのが隆國の大理想は、今や地圖の上にもはつきり顯現せられ、多年米英の蹂躪に委せ、その擲取に苦しんできた東亞は、大東亞のための大東亞、さらに進んでは道義に基づき新らしき世界建設の先驅として力強く發足してゐるのである。

日滿兩國の物心に亘る一徳一心の協力よりは多言を要しない。また中華民國については本年初頭から、帝國の既定方針に従つて租界の還付を始め、幾多重要な案件の具體的措施が急速に進められ、十月三十日新らしく日華同盟條約の締結を見た。

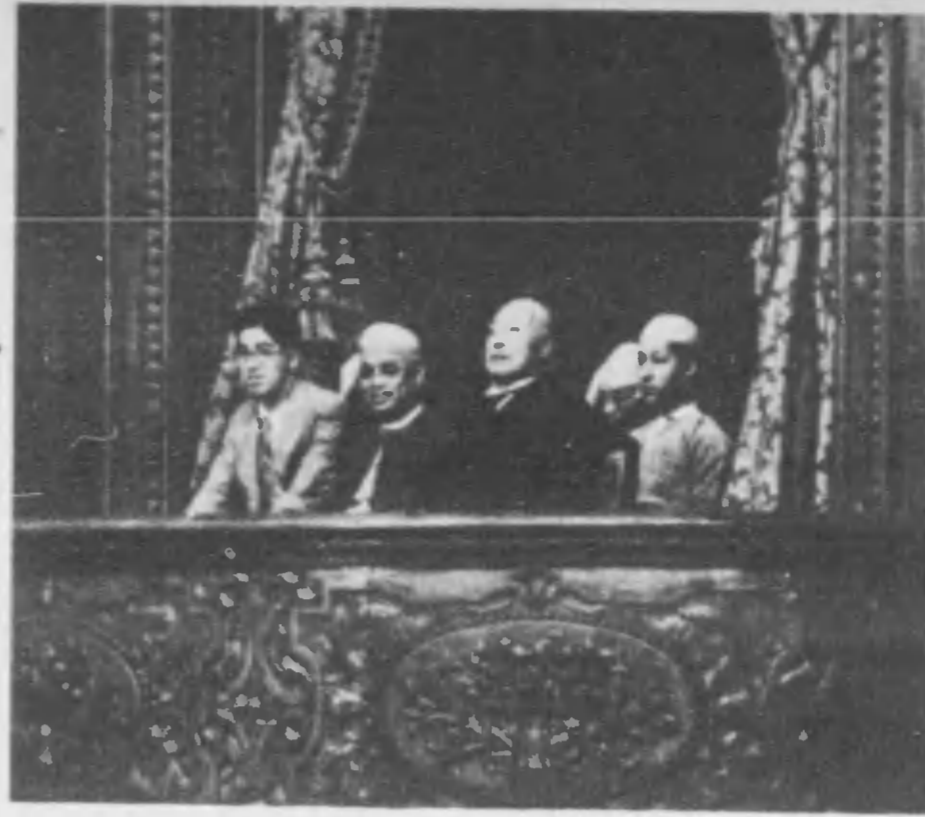
タイ國との關係は日に緊密を加へ、北都マライの四州とチャンの二州を新たにタイ國の領土に編入する措置も既に完了した

大東亞のための大東亞つひに成る

更にさる八月一日には、大東亞戦争下、御成敗の下、大東亞に生誕した最初の國家としてビルマ國が獨立した。以來ビルマ千六百万の民族は、いよ／＼帝國と提携へ、大東亞防衛の第一線において、よく敵前建設の進しを健闘を續けてゐる。續いて十月十四日には、比島が浮出た獨立の日を迎へた。米國の欺騙と壓制から解放された「比島人の比島」が、ラウル大統領の下、今後大東亞共榮團の一員として、その力強い發展は期して待つべきものがある。大東亞建設の歴史に永久に記念されるべきこの二つの出来事を、敵は夢に背かされるやうに迎へ送つただらう。

またマライ、スマトラ、ジャワ、セレベス等の原住民に對しては、それ／＼その民族に應じて政治參與の具體的な措置がとられてゐるが、まことに心強いことは、ジャワ、スマトラなどにおいては原住民の防衛勇軍志願者が相續き、敢然起つて大東亞の躍りに就かうとしてゐることである。

次いで十月二十一日、インドの志士スバス・チャンドラ・ボースが、大東亞の建設に邁入する勇將者から南洋聯邦大使とシ・モン・ビルマ國大使



力強い一節々々に國の内外、實、世界の諸國を求めて、東亞共榮團大東亞の建設

ス氏の下に祖國解放のため立ち上つたインド假政府に對して、帝國は直ちに同政府承認の意志を表明した。インドに對するわれわれの決意は東條總理の言はれた

「インドにおいては志あるものは悉く半擧に投ぜられ、無事の民族は絶て饑饉に泣く。これ正に世界の悲劇であり、人類共同の痛恨事であり、われ／＼の斷じて放置し得ざる所である」に盡きてゐる

かく大東亞の情勢を通過すれば、多年米英の野望に鬱鬱の苦しみを重ねて來た大東亞の諸國家、諸民族を解放せんとする大事業が、實に堅實な歩みで以て着々とその基礎を築きつゝあるのは一目瞭然であり、帝國を盟主とする大東亞團結の實は、すでにわれわれの眼前に現實として展開され、今や十億民族の雄力と決意とは、たゞ米英聯軍の一點に結果されてゐるのである

大東亞建設の進展こそ敵最大の脅威

だが、敵も必死になつて大東亞の地圖を脱んでゐる

敵アメリカのA.P.通信社の太平洋戰線特派員クラーク・リーといふ男が、このほど「リーダース・ダイジェスト」といふ雑誌に「恐しいことながら日本の必勝形勢は着々固められてゐる。日本が世界最強の國家になるために必要なことは、その新帝國を開闢する方針を實施した



これまでに幾多の職員は任務の遂行上、絶海軍には召集されなかつたが、決意のいま一度なべて國に赴く體に於て、本國を離れ、本國を離るるもの九の氏を本國に召喚して、彼等の奮闘を祈る

し發展させ、且つ自分の指揮下にアジア諸民族を結束するための時間だけだ」

と悲鳴をあげてゐるのでもその一部が窺はれる通り、この大東亞建設の現實と將來こそ、敵米英の最も脅威を感じてゐる點であり手段を選ばぬ總反攻もまたこゝに發するのである

現在われ／＼が當面してゐる戦局が如何に重大であり、また彼等野望を掲げてゐるかは今更言を要しない。しかも戦局の轉運はたゞ量においても敵を撃滅するに足る航空兵力の増強如何に懸つてゐる

政府がさきに「現情勢における國政運営要綱」を決定し、これに基づいて「國內形勢強化方針」を着々と實施してゐるのも、その第一の主眼とするのは、航空兵力をはじめ軍備生産の急進かつ飛躍的な増強をはかり、必勝の戦力を、最も迅速に、しかも間斷なく整備して、遺憾なく敵の要求を充足するためである

敵の非難攻撃（戦力増強の進展進行

政府はこのため、從來の官廳の傳統、行き懸り等に一切拘泥することなく、いやくも必要な施策は、思ひ切つて強力に斷行することに決意し、今回の臨時議會には生産責任制を確立すべき劃期的な軍備社法案をはじめ、時局に關し緊急な法律案並びに豫算案等を提出、これが全幅な協賛を得て、着々速やかな實施を期してゐる。行政運営の決戦化としては、十一月一日、軍備増強、運輸通信省、農商省などの新しい店開きを始めとして、中央各廳にわたり行政機構の整備を行ひ、再びその職員の大編組をほか

「日本七種の重要工業（飛行機、船舶、兵器、造船、化学、石油、電気）の生産が外される。そのあとへ、機軸が製造の手で木の骨を折らし、五億の生産が、軍備生産の骨がまじり一體である



軍備生産の骨がまじり一體である

り、また官廳事務の刷新をはかると共に、豫算を徹底的に軍備化する方針を實施した

軍備並びに軍需生産に必要な國民動員の強化についても、今回兵役法を改正して兵役年限を満四十五歳まで延長することにしたこと、學生等に對する一般集積の停止、徵集費用の範圍の擴大、普通化等に對する措置を急進に進め、一億の戰鬥配備を強化し、國內防衛形勢強化のためには、防空本部の設置、防空法の改正等によつて重要都市の人員、施設を疎開する方針を決定する等、周知のやうに實に劃期的な前進は既に第一歩を踏み出したのである

このやうな國內形勢の徹底強化が、最も迅速に、最も力強く實行されるかどうか、文字通り大東亞戦争の成否を決定する。しかもその責任はかゝつてわれ／＼の上にあるのである

この責務は、決して生易しいものではない。從來の考へ方や、行き方では到底成し遂げられるものではない。官も、兵も、ほんたうに一億國民が、眞に一切の情性を鼓舞し、渾身の力を傾けし

大東亞建設に對する軍備生産の歴史的な展開式、眞摯にして旺盛な力の増強の進展進行



インド人のインド獲得へ 自由インド仮政府誕生す

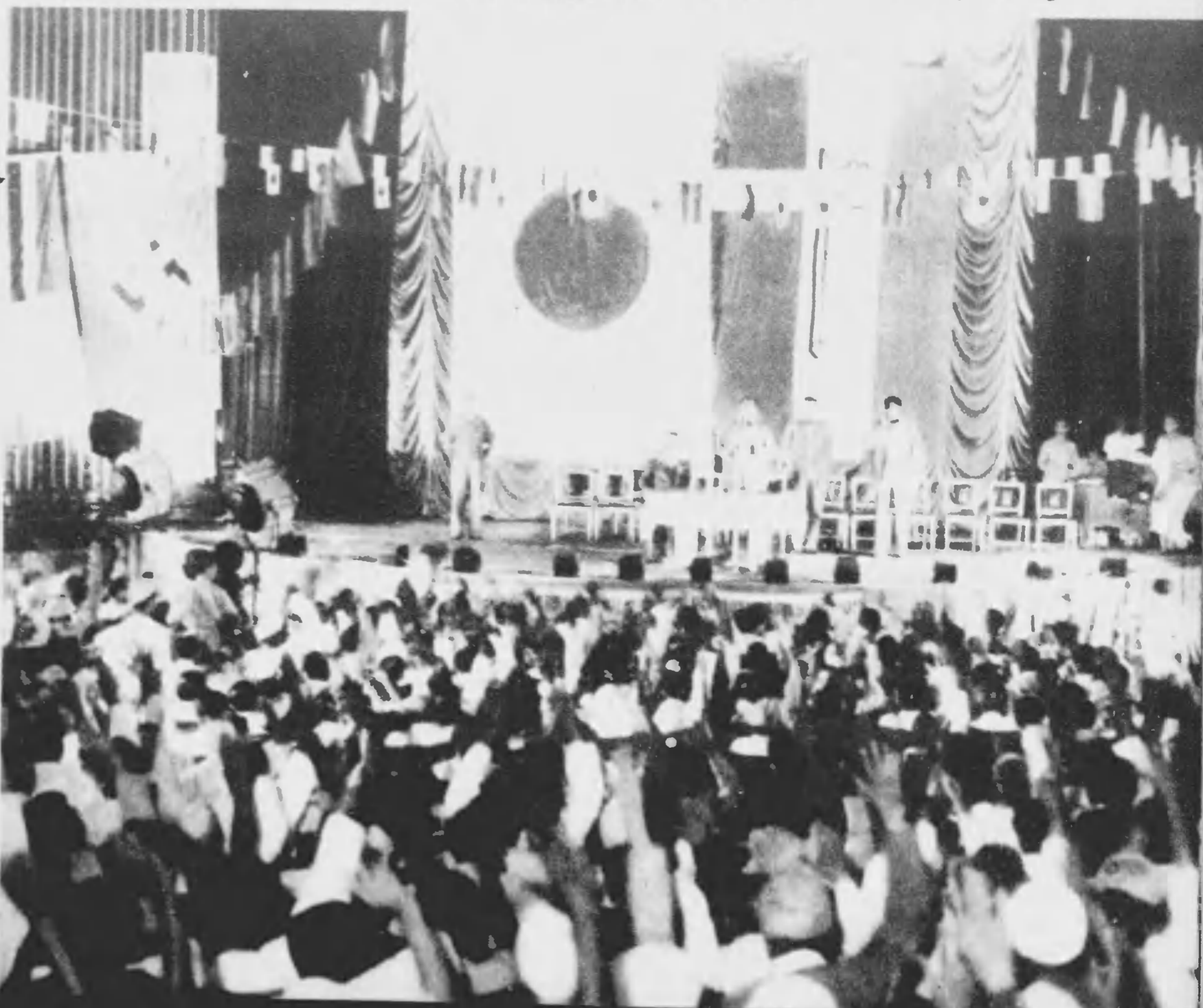
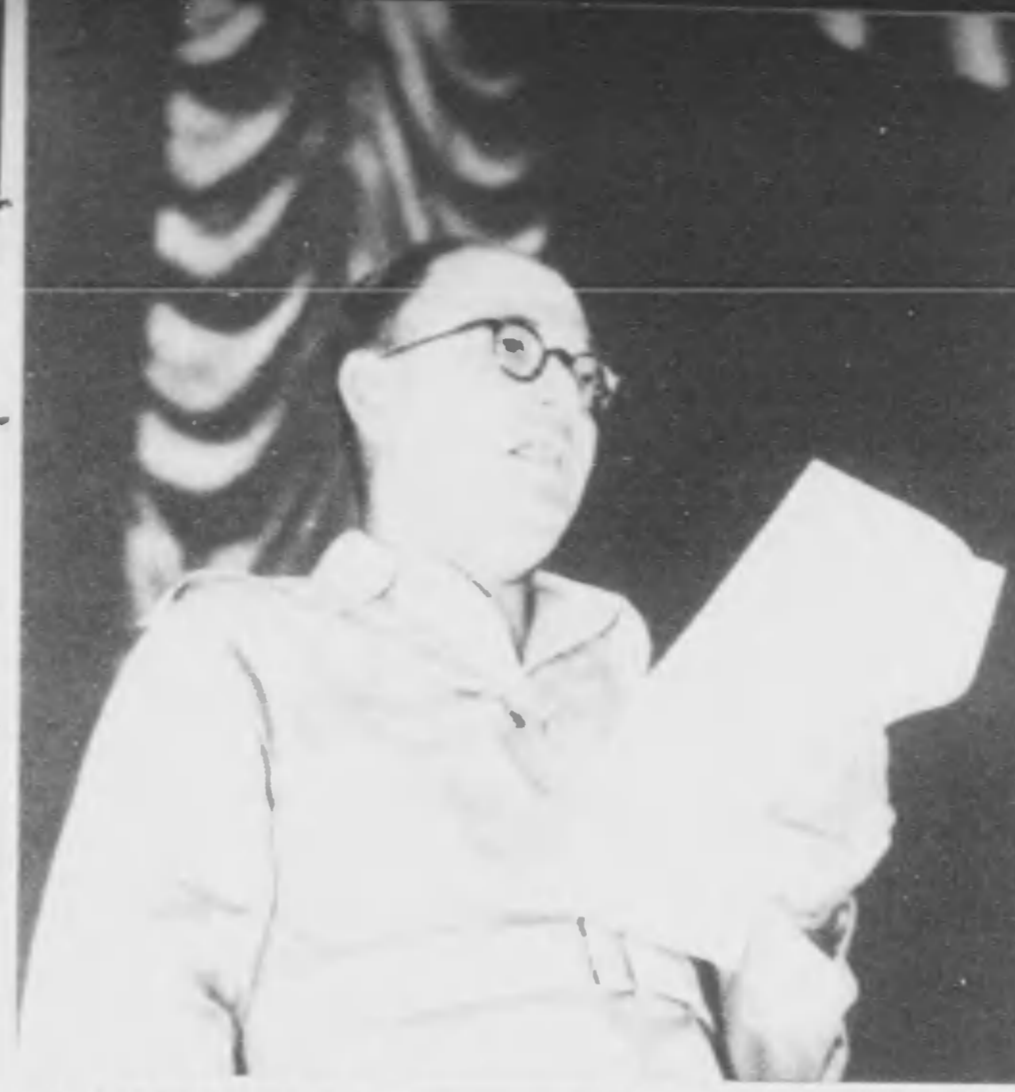
昭南



撮影 同盟通信社

自由インド仮政府樹立が提案されるや、二百万インド民衆の熱意を代表する全代表は、直ちに熱狂的な風潮を絶叫しつゝ、賛意を表明したのだ。

自由インド假政府の樹立を宣言するスハスチ・チンドラ・ボース氏の一言一句は烈々の氣魄をこめて全インド人に呼びかけられた。「英國人とその同盟者に對し一大闘争を開始せよ、インドの地から敵が完全に追放され、インド人が再び自由なるインド國民として立つ日まで勇猛と忍耐と必勝の信念をもつてこの闘争を闘ひ抜け」と。



新閣僚の任命式

参議の婦人幹部連



インド獨立史上に、否、世界の歴史に劃期的な重大意義をもつ自由インド假政府は、十月二十一日、昭南市に開かれたインド獨立聯盟東亞代表者會議の席上、東亞在住二百万インド民衆の總意によつて樹立された。

三十七日、インドの志士スハスチ・チンドラ・ボース氏が昭南に乘込み、獨立聯盟總裁に就任、インド國民軍を編成して、自らその指揮官となつてが南三ヶ月餘、その間、タイ、ビルマ等に東進西進して準備を進めてきたが、その時、八に於て、こゝに光榮の日を迎へたのである。新政府はボース氏を下席に、直ちに反英抗爭の新たな火蓋を切り、堂々米英に宣戦を布告、祖國進撃の決意を全世界に表明し、インド獨立運動は今や名實共に獨立戰爭への逞しい展開をみることになった。

歴史を辿れば、今から約百年前、西曆一八五八年十一月一日、マラハッタにおいてヴィクトリア女王がインド統治宣言を發し、インドの上地と人民が完全にイギリスの支配と軍政に委ねられて以來、このたゞインド假政府がインド人自體の唯一最初の獨立政府たる榮譽を擔ふ。かゝる政府の誕生がインド三億八千万の民衆に與へる感動、さらにイギリスに與へる恐怖は思ひ半ばに過ぎるものがある。

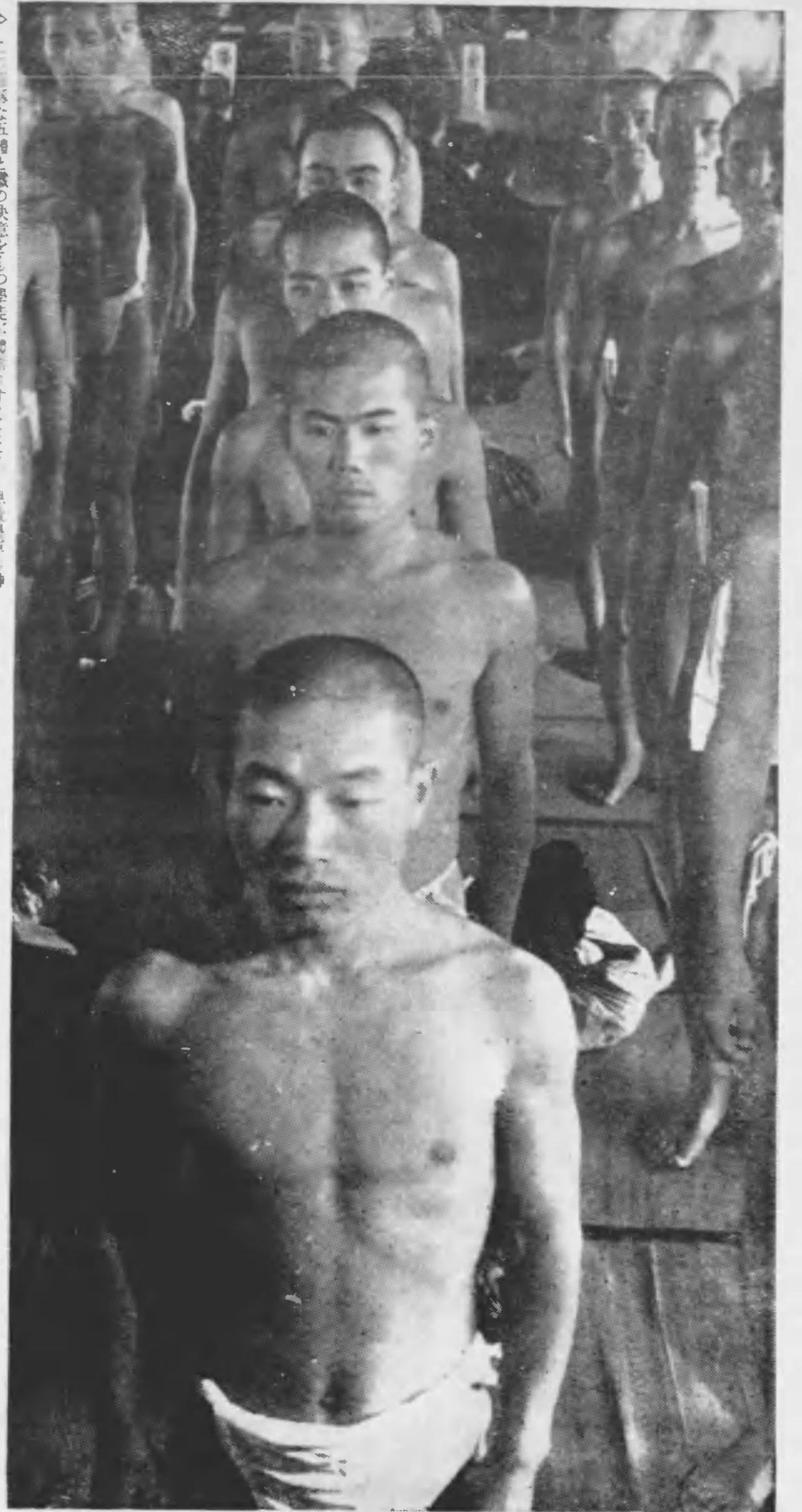
現在インドでは米英軍の暴行が、空前の食糧飢饉を生み、カルカッタにおける餓死者は一日百五十名に上るといはれてゐる。かゝる目を凝は

しめる惨状が世界に放置されてゐてよいだらうか。斷然、否である。

眠れる象インドは遂に目覺め、怒れる象となつて、ボース氏のいふ「インドへ進撃する國民軍の基地」ビルマより、デリーへ、デリーへ、の軍事を起さずしては來たのである。

新たに任命された閣僚の首々、ラクシュミ・スワミナタは人部長の顔も見える

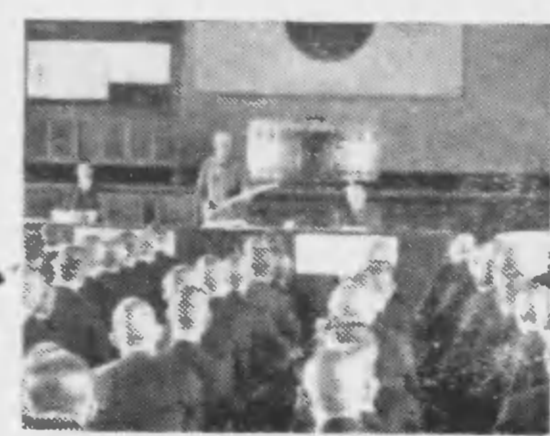




学徒われも 今日よりは醜の御楯ぞ

皇徒の臨時徴兵検査 東京

「いよいよ古武士の元服なのだ」とと刀を構へ、威風凛々たるその顔に頼もしげを見る



「甲種合格」を賞する徴兵官も、同様のガッチリした肩幅に、威風凛々たるその顔に頼もしげを見る



「甲種合格」を賞する徴兵官も、同様のガッチリした肩幅に、威風凛々たるその顔に頼もしげを見る

「いよいよ古武士の元服なのだ」とと刀を構へ、威風凛々たるその顔に頼もしげを見る





◇ 仕事をし長さんのおまじりまで
◇ 仕事をし長さんのおまじりまで
◇ 仕事をし長さんのおまじりまで
◇ 仕事をし長さんのおまじりまで
◇ 仕事をし長さんのおまじりまで



夕飯後縫って仕事、おぼあちゃんもお孫さんのお守りしながらいっしょにやっています。

◇ 本本さんではいつも弾丸切手を買ふことになってる。今日は理事長さんがまとめて郵便局で買ってきて。

一昨あけて勝ちぬくための練軍をこころとく、僅かな時間、少の努力も無駄に費やされるべきでなく、すべてをあげて戦力を増強するために使われねばならないのです。かうした考へから、近頃、都の主婦たちの間には家庭工場化運動といふ勢が高くなつてまゐりました。これはあまり設備もいらす、手先などで簡単にできる工場内の仕事を、婦人会が隣組を通じて家庭にまはして貰ひ、老人とか子供などの努力まで動員して作業をすることです。

今までは内職といへば、生活費を補ふためばかりのやりに考へられてきた。だが、現在ではかうした消極的な意味は失ひ、もつと高い國家的な、そして有意義な意味を持つてきてをります。即ち、一は、これによつて得た工場の努力を他のもつと重要な仕事に用ひて貰ひ、二は、これによつて得た工場の貯蓄の重要な源泉となり、三つには、家庭における小さな努力でも、實に日本の戦力増強に資するといふ、以上の三つの強力な意味を持つてをります。利用し得られる努力は機運に利用しなればならぬ重大なときなのです。

さて、こゝろ芝田村町三丁目西町會では寺尾イトさんを中心に、三十人の日職會員が、この主意に副つて毎日せつせと作業をつづけてをります。仕事の種類によつては共同作業もしますが、大抵は自宅に持つてかへつて、家庭内で作業が行はれてをります。作業は午後とか夕飯後に、家族全部が一つの座敷にまゐり集つて、和やかな空気の中行はれます。工賃はでき得る限り貯蓄や公債を買ふのにまはされ、この仕事をやるやうになつてから會員たちの貯蓄はぐんと上り、公債もいつも割當額を遙かに越すといふ嬉しい成績で、みな大喜びです。

忙しい家庭生活も何とか工夫して合理化し、時間をうみ出して、主婦も、子供も老人もそつとて戦力増強につきませう。

一希望の方は、東京都ならば各區役所の親切課、授産場、地方ならば市町村役場等に申込まればよいのです。



◇ 仕事の分配は理事長さんがおこなつてる。「あたしとこころいっしょにやりますよ」理事長さん、十包お願ひします。





→ 常に進退等を断じて空襲への心算へをこしらへておきましょう

敵機が我が国を襲う

幼と空防 理心の兒

雄 俊 田 竹



幼児が自分で空襲に備えるべきことを示す。その服装は、空襲に備えるべきことを示す。

空襲を主として、幼児の防空が第一、何人かの子供を待避所へ避難に取上げられておきますが、幼児を空襲から護り、実際に當つて安全に避難させるには、幼児の心理をよく理解しておかなければなりません。

**―― 幼児の運動機能に
に應じた準備を**

幼児の防空は避難が主眼ですが、

護してゐる母親が恐怖に押されるならば、幼児は立ちどころにその場の中に捲き込まれてしまふます。従つてこれと反対に、警戒が鳴らうが、空襲警報が鳴らうが、親が平然とその場合々々に應じて必要な措置を秩序正しく行ふならば、傍にゐる幼児は落ち着いた顔色、親の言葉、親の態度が子供の心構へを作り上げるのです。幼児の暗示を受け易い性質、模倣する心理を利用して、恐怖に促はれず、平静であられるやうに指導するのがよいです。

幼児の全身の運動機能は、かなりでなく、手足がどの程度に発達してゐるかといふことも、防空用服装を工夫する場合には考慮を要するべき重要な点です。幼児の防空用服装は、身を保護し、避難に便利なるものであることが、最も重要で、これを着る際に、なるべく自分ひとりで早く支度できるものがよいのです。これは普通の子供服の研究ですが、簡単な洋服がひとりで着られるのが三歳、ボタンがかけられるのが四歳、紐が花結びに出来るのが五歳、六歳、帽子ががぶれるのが五歳頃、靴をはけるのが三歳頃といふ結果が出てゐます。

**―― 恐怖心はどうして
起るのでせうか**

空襲にあつて心配なのは、幼児が激しい恐怖心に襲はれること、いかにいふことでも、物の破壊、死者や負傷者の群、そして自分の生命の危険、かうしたものに対しては、大人は理性をもち、意志をもつことが出来ますが、幼児は心算化してゐないために、情緒的な反応が強く、恐怖に陥り易いのです。そして幼児が一度恐怖に促はれると、それから抜け出させるのがなかなか困難です。たまたま、近所に落雷があつてから、夕立が来さうになるたびに怯えて泣き騒ぐ子などを時折見かけますが、これが他には長い月日かかるといふのです。

**―― 恐怖や不安
を除くには**

一 恐怖する辭のついてしまつたものを奪ふことは、直接強く衝動を受けた場合などはなかなか困難ですが、幼児の心のなかに着目して、幼児の防空訓練の際などに、空襲を何とも思つてゐない子供達の仲間に入れて、次第に馴れさせるのも一法です。幼児の心は周囲のものに同化され易いので、他の幼児達が元気に活動してゐれば、それと行動を共にするやうになり、恐怖も次第に消失してしまふものです。また、防空訓練の時などに、その子の喜ぶことをしてやつて、前に述べた条件づけを適用し、恐ろしいものや乗せられるものや一つに離れさせるのも恐怖を救ふ途でありませう。



待避所内で考へられることは幼児達がいつと入つてゐないだらうといふこととです。保護者は幼児達の注意力を集中させることも工夫しておくことが必要です。

す。お化けといつても、二歳や三歳の子は少しも恐れませんが、このやうな年齢では、お化けの話がわかるほど発達してゐないからです。ところが四、五歳になつて、いろ／＼な話を聴きたがるやうになると、お化けを恐れるはじめるのです。周囲の人々からお化けは恐ろしいといふ知識を得たため、後にいふやうに、幼児に防空の指導をすることは極めて大切ですが、その際、空襲は恐ろしいものであるといふやうなお話を聴かせると、かへつて逆効果を生じて、いつも空襲を怯えてゐる子供になつてしまふから、この點はよく注意しなければなりません。

―― 周囲からの暗示

周囲のお話がお化けの心に働きかける以上に大きな影響力をもつものは、大人の行動そのものです。防空警報のサイレンが鳴つて母親があわてふたふた、恐れ戦いてしまふならば、幼児は極めて敏感にこれに感応します。幼児の心といふものは、驚きで、いはば、はつきりした輪郭をもつてゐないで、周囲の者のすることゝなることに同化する性質のものです。お化けといふやうな想像が入る餘地もない位に、親が笑ひ顔をするれば笑ひ、不安な態度をするれば不安に陥るのです。幼い子供が大勢一緒にゐる所で、一人が大笑をあけて泣き始めれば、他の子供たちもとも泣き出すことはしばしば見受けられるところでも、まして、自分を威嚇することです。



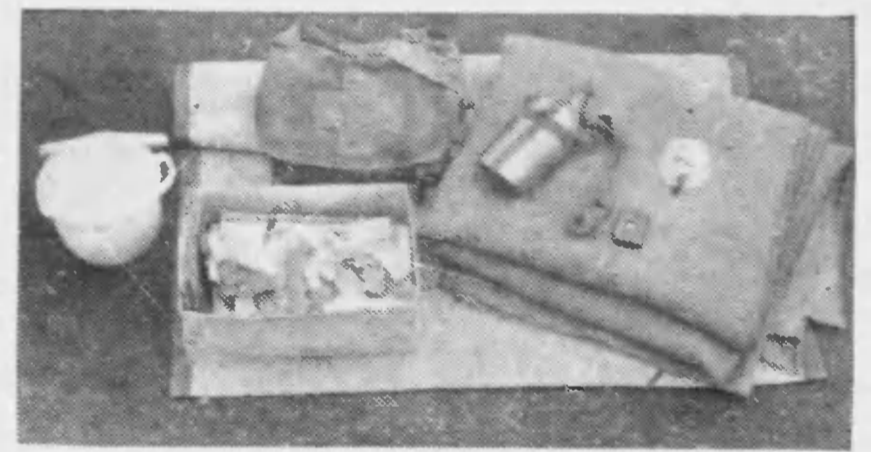
この条件づけの逆用は、このやうな顔に出来てしまつた恐怖心を

矯正に役立つばかりでなく、空襲の際に強い恐怖を感じさせないやうにするために大いに有効です。たとへば、暗い防空待避所の中に大らかな人形や繪本を入れて置くとか、待避所内で面白い話を話してやるとか、かういふ心遣ひは幼児を不安にさせないために望ましいことです。かうやつて、空襲に對し恐れを抱くことなく無事に待避所から出ることが出来るなら、大さの空襲に對しても心の動搖を示すことなくすむでせう。

待避所内での心理的な問題

なほ、このことと關聯して待避所内での幼児の心理作用から起る得ることを考へてみますと、幼児の注意力の問題があげられます。幼児の注意を大人が集中させようとしてもなかなか「続く」ものではなく、せいぜい二十秒位でせう。ところが一度幼児が自分から興味をもちはじめると、その注意はかなり長く持続します。このやうに心の構へが變ると、一つの遊びに十分以上も集中するものです。そして、この集中になつてゐる間は、ほかにながらうとも氣にかけないのです。幼児が飽きて待避所の中から首を出したり、徒らに外部の音響などに恐怖を抱かせたりしないためには、待避所の中で面白く遊ぶことが出来るだけの工夫をこのへてやらねばなりません。

もう一つ、待避所の中の心理的な問題は、激しく咽歌が起るため、尿意が頻繁になつたりすることです。渴の感じは待避所内の気温が高まつたり、防空用服裝をしてゐる苦しいといふやうな純粹に生理的な原因からも起りますが、空襲といふので強く緊張すると、交感神経系の興奮から渴の感じや、頻繁な尿意が起るのです。これは大人でも見られる現象ですが、幼児では意志の抑制力が弱いから、これを訴へることが一番激しくなるのです。待避所の中に飲



➔ 幼児の待避所へ持参する物としてコサ、手布、筒、紙、おもちゃ、教用品、水筒、便器等を用意しておきます。



➔ 警戒警報が発令されたら、すぐ防空服裝をとり、へまをさせます。そして家の中で遊ばせ、空襲警報にすぎなへませう。

お手本を見せ、て具體的に

幼児の物の考へ方といふものは非常に具體的で、お手本といへば、幼児はいつも自分の手を思ひ浮かべます。幼い子では自分の手を離れて手といふものは考へられないのです。抽象的に手とは何かといふ問いに對して、一應の答へが出来たはずといふ大さなつてか

い子には手といふ概念が全く存しないかといふと、必ずしもさうとばかりはいへません。年齢が幾分大きくなれば「お人形のお手々はどれどれ」と訊けば、正しくその手を指さすことは出来ます。これは一種の概念ではあるが、大人の持つ概念とは全く異つた、いはば行動的な概念で、幼児が物を考へる場合には宙で考へずに、いつも實際に對して考へるのです。従つて、幼児を導く場合には、抽象的に言葉だけで理解させようとしてその効果は非常に薄く、實際にその行動を具體的に指導しなくてはなりません。

幼児の防空訓練をするにあつても、いろいろの場合の處置を言葉で言ひかけると同時に、實際に行動によつてお手本を示し、それを實際に幼児に行はせるやうにするれば訓練の効果は上るものです。そして、お手本の示し方は秩序正しくすることが肝要で、習慣をつけようとする場合、その動作に順序づけをし、正しい形のもの習得させることが第一の要件です。防空用服装に身を固めさせるにしても、たゞこれを着なさいといふのではなく、まづ一定の場所からそれを着て来て鞄と置き、もんべならもんべを、最初に左足を入れ、次ぎに右足を入れて穿き、腰のところで紐を結び、それか

平素から社會的な練習を

指導するのも、行動を秩序立て、興味深くするよい工夫です。幼児は二歳を過ぎる頃から、大人が何かいふと、「一應は『いや』』といふたり、その暴動をしますが、これは子供が心理的な離乳期に入り、自我が芽生えて来た印です。この時期、むしろ上手におだてて必要ない行動をとるやうにさせるのかといふのが、頭から抑へつづけてしまひます。

これが五、六歳になると義務の意識がはつきり生じ、大人のいふことをやり遂げようとする氣持が出て來ます。幼児を指導する者はこの心理をよく辨へて子供を動かし、社會が防空上、幼児に要求する行動の特の中に入れるやうに習慣づけてゆかなければなりません。なほ、幼児は四、五歳までは、幾つものいひづけを一時にいれたものでは、それを理解し、實行するだけの能力がまだ發達してゐないから、幼い子にはいひづけは一つづつ與へなくては効果がありません。

子供同士の間は、遅くも三、四歳になると、遊び相手を本當に欲しがらるやうになるが、それまでは眞の意味での幼児の集團といふものは成り立ちません。何人もが一緒に遊ぶのであつても、心理的には一人々ばら／＼なのです。それがこの頃になると、社會性がはつきりと現はれて來、集團的な行動がとれるやうになります。多くの幼児を指導防護するやうな場合には心得て置くべきことで、なほ、幼児の社會性は、しばしば一人子に見られるやうに、適當な遊び相手がないと發達しないやうで止まり、かへつて他人を恐れ親の袖に隠つて、他の幼児達と協同的な行動をとれない場合が生じます。これは空襲で他へ避難しなければならぬやうな際、非常に困ることです。平素から親はこの社會的な練習を怠つてはなりません。また、着衣その他も、既に述べたやうな年齢になれば自分で着得るものから、身の廻りのことは出来るだけ自分で始末できるやうに教へて置くことも、空襲に對處する幼児の育て方として大切なこととす。



原則として幼児は家庭の待避所へ、もしより安全な待避所があれば、そこへ避難させることになつてゐます。幼児の運動機能なども考へて入りやすく工夫したり、避難することも自動的機械的に習慣づけしておくことが大切とす。



おせきの貯蔵法

内原訓練所 木村 幸雄

米だけが食糧ではない。勝利への大切な軍需物資を運ぶ輸送船に、外米を積まないために、食糧は自給でゆくのだ。糖業でも、小量でも、どんな雑穀でもい、腹のたしになるものはすべて決戦食糧としなければならぬ。この中でも、甘藷は大事な食糧で、今春の植付けが見事に實を結んで、全国の収穫は約十七億万貫を見込まれてゐるほどだ。

しかし、何といつても甘藷は腐り易い。この腐り易い甘藷をできるだけ保存して長つゞきのする決戦食糧たらしめる貯蔵法をこゝに紹介しよう。

場所がわづかな空室さへあればよい。甘藷を収穫する時、まづ第一に氣を付けなければならぬのは、霜や冷気に決してあてないことだ。霜や冷気にあてると外見では分らなくても、貯蔵してから腐ることがある。大體の氣候からいつて東京以南は十月下旬から十一月下旬ごろに取入れるがよいが、貯蔵するには成るべく早く掘る方が安全である。

さて取入れは、植付けの時と違つたやうに、本葉六月十六日第七十六號、高さ三尺につくつた高畝の横下から、鋤で掘つてゆき、掘り出した土は、高畝と高畝の間の溝へ平らにうづめてゆく。それから畝の中央部の甘藷のあるところを掘り出す。最初に植付けを正しくしてあれば、甘藷は必ず高畝の中央部に實る筈であつて、甘藷がどこにあるか分らなくて、鋤で甘藷を傷つたりするの

は、高畝にしておかなかつたり、植付け方が正しくなかつたからである。

掘り出したら、そのまゝ土を拂つて貯蔵穴へ入れるが、その際、直接強い日光にあててはならぬ。中には、わざと日に干す人があつたが、傷み易いから避けねばならぬ。そのほか、なるべく動かさないやうにすること、蓋の先から腐つていつて甘藷が駄目になるから、蓋は必ず折り取ること。この時、乳白色の液が出るけれども、これは甘藷の外皮より腐敗を防ぐ力が強く、そのほか病菌をも防ぐ貯蔵穴は、甘藷の量によつて適當に掘るが、掘つても水が湧かない土地なら、なるべく深い方が貯蔵に適してゐる。

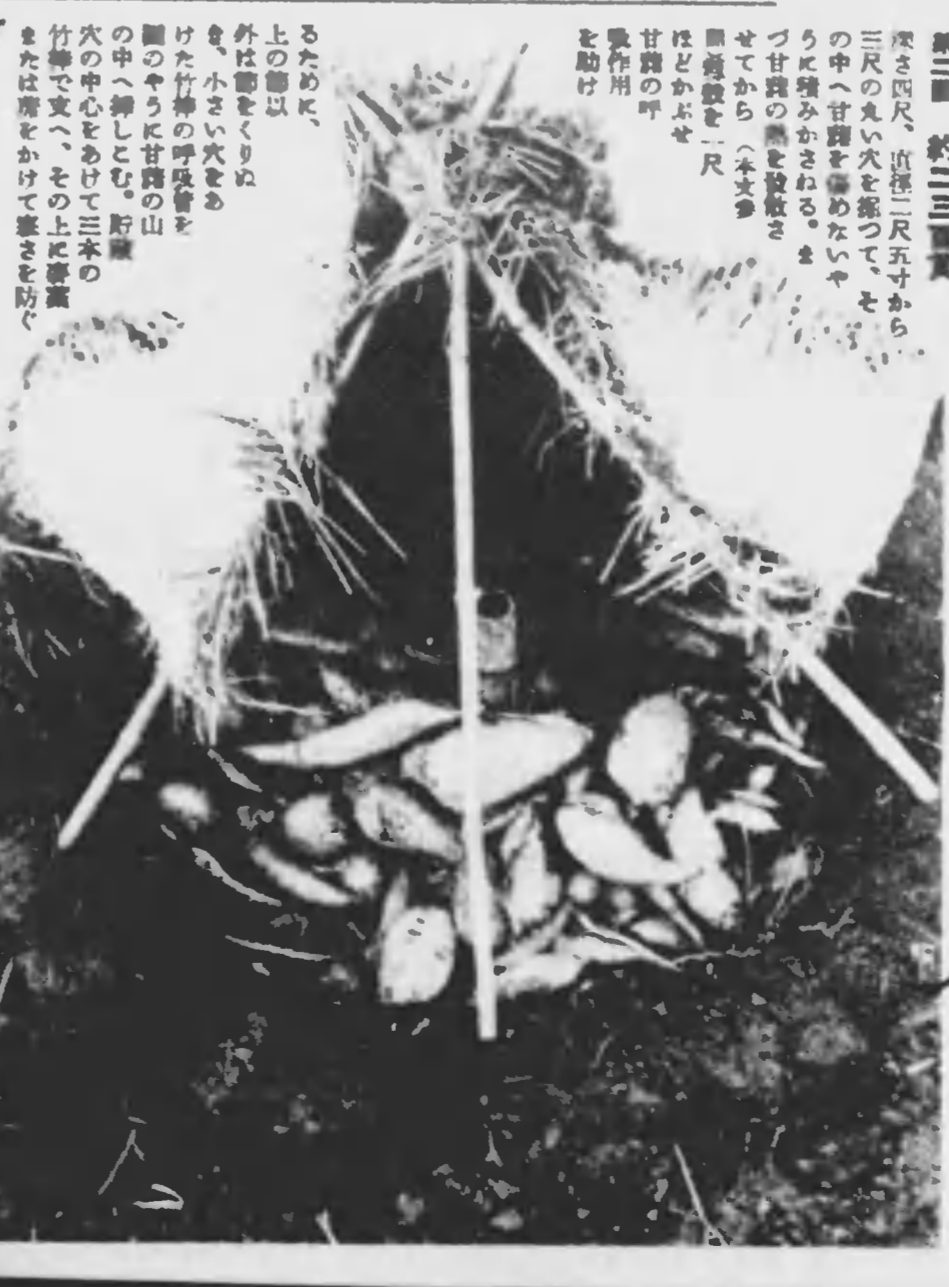
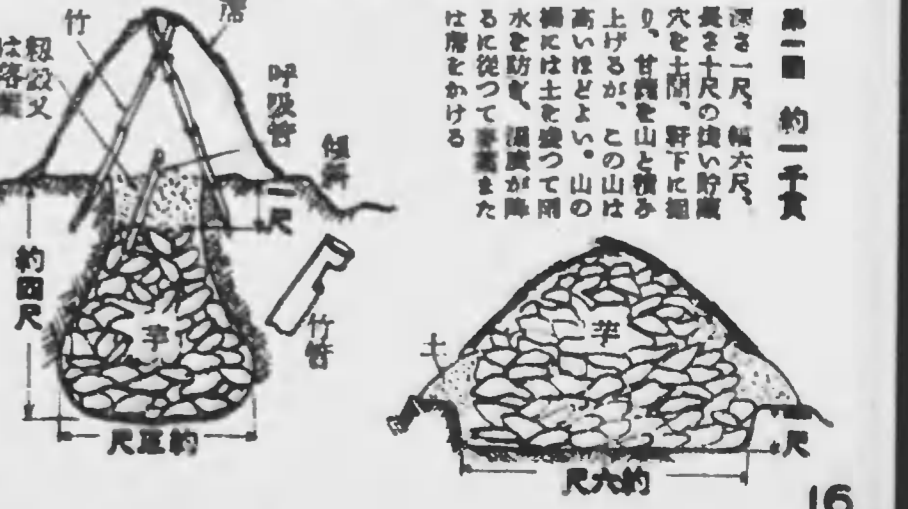
一般に甘藷を貯蔵穴に入れた初めの日は、甘藷から葉氏二十五度位の熱を發する。それが一日一度位の割合で下がつて、二週間位経つと、貯蔵温度として適當な葉氏十四、五度となる。大體、貯蔵

には葉氏十二、十七度が適當で、寒暖計を使つてこの温度を保つやうにする。

二週間後は、温度を保たせるため甘藷を殺殺で被ふが、この殺殺は、乾燥しきつたものより少し温氣のある方がよい。さらに温度が降つた時は草葉または藁をかぶせる。十二月から一月には一尺まで位の殺殺の量を増し、土をかけ、藁、草の敷も多くなる。

殺殺がない時はおが屑、砂、土、落葉、草などを被ふが、甘藷が呼吸作用の出来るやうに軽くか

ける。貯蔵中、鼠や土鼠の餌食となつたり、雨水が侵入して腐つたり、または病菌のある甘藷が混つてゐたために、全部を腐らせたりしないやうに氣をつけることはいふまでもない。要するに、貯蔵穴の熱も大切であるが、貯蔵する人の熱が一番大切なのである。



第三圖 約三百貫

深さ四尺、直径二尺五寸から三尺の丸い穴を掘つて、その中へ甘藷を詰め、その上に藁をかぶる。まづ甘藷の熱を殺殺で殺してから、(本文参照) 藁を二尺ほどかぶせ、甘藷の呼吸作用を助け

るために、上の藁をくりぬき、小さい穴をあけた竹の呼吸管を藁のやうに甘藷の山の中へ挿しこむ。貯蔵穴の中心をあけて三本の竹で支へ、その上に藁または土をかけて寒さを防ぐ

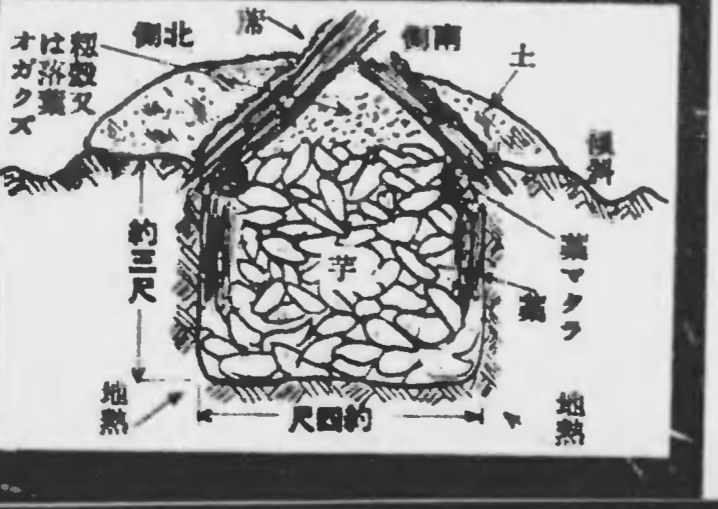
第四圖 約一千貫

深さ三尺、幅四尺で貯蔵穴の長さは二間に掘る。まづ穴の横側の上半部を藁で被ひ、大地に接するところへ

は藁枕をうづめる。貯蔵穴の下半部には地熱が傳はつて来るから藁を埋める必要がない。貯蔵穴の上は藁または土で被ひ、南向きに強風で吹きやうにし、その隅には排水をつけて雨水が入らぬやうにする。

甘藷の熱が殺殺してから、一定温度を降る時には、藁、落葉、オガクズ等を甘藷の上へ三四回にわけてかぶせ、十二月から一月ごろには藁の層へ土をかぶせるとなして寒さを防ぐが、第二圖のやうな空室管は必要でない。

この方法で甘藷一千貫が貯蔵できるが、各家庭では貯蔵したい甘藷の量に従つて貯蔵穴の長さをいゝめる。



敵撃の戦力を増強

三千元百圓

年金が一生涯の

郵便年金



郵便局で説明書呈送

寫眞週報 昭和十八年十一月十日 東京郵便局印刷 郵便局代印 昭和十八年十一月十日發行 郵便局代印 郵便局代印 郵便局代印

印刷局印刷發行

本誌を回覧に
本誌を、講義や職場
へ回覧するなど、出
来るだけ有効に郵利
用下さい。
前線慰問にも
またお読みになつた
ら本誌を前線慰問に
送りませう。送料は
内地と同様に封封あ
るひは開封にして第
三種と明記すれば、
一部一錢です。

本誌掲載の寫眞中、
影者名或ひは提供者
を特に附してあるも
のには財団法人寫眞協
会の製作によるもの
又、海軍関係の寫眞
製は海軍省承認第五
四三號です。

所 込 申	價 定
全國各地官報 販賣店・賣店 新聞・販賣店 寫眞材料店	<p>一部十錢 (送料一錢)</p> <p>▲外地郵送は依 共一都十九錢 其の都道府県は 特大號の場合 金より差額を申 受けます</p>

寫眞週報
(兼無断轉載)

昭和十八年十一月
十日印刷發行

情報局
東京郵便局
印刷局

(封筒用紙・A4用紙定規はさき大の書本)